

我が校の強み弱み分析・評価シート

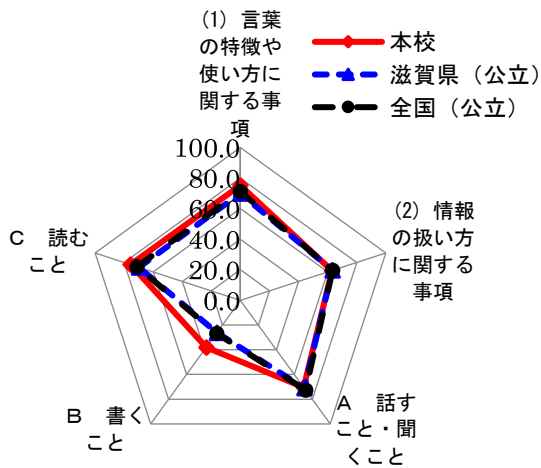
【調査目的】

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について～我が校の強み・弱み～】

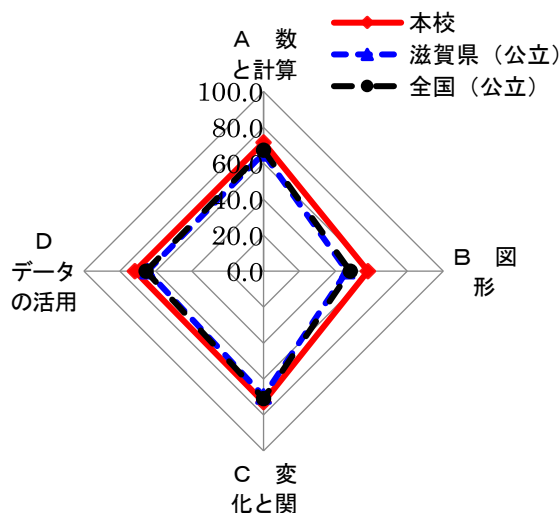
今年度はタブレット端末を利用した児童質問紙調査と、国語科、算数科の調査が行われました。全体的に無回答率は低く、最後まで問題を解こうと頑張ることができました。

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。



国語

- ほとんどの問題で全国・滋賀県の平均正答率を上回りました。全体的に全国の状況とよく似た傾向を示しています。
- 文章の種類とその特徴や、目的に応じて必要な情報を見つけることができるかを選択する問題がよくできていました。
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるか、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができるかどうかを記述する問題で課題が見られました。
- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題の正答率が低く、漢字の定着に課題が見られました。



算数

- すべての問題で、全国・滋賀県の正答率を上回りました。全体的に全国の状況とよく似た傾向を示しています。
- 図形の意味や性質、面積について理解しているかどうかを見る問題が特によくできていました。
- 複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題で無回答率が高くなりました。どのようにして求めるのか、考えたことを言葉や図、式等を使って説明することに課題が見られました。

児童質問紙

- 「友達関係に満足している」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」と回答した児童が多く、全国・滋賀県の平均を上回りました。また、「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した児童も多く見られました。
- 「国語・算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童が大変多く、「授業の内容はよくわかる」「学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童も、全国・滋賀県の平均を上回りました。学習に対する前向きな姿勢が見られます。
- 「毎日朝食を食べる」「同じくらいの時刻に寝ている」など、基本的な生活習慣に関する質問で、肯定的な回答の割合が全国・滋賀県の平均を下回りました。また、放課後や土日など「家庭で学習に取り組んでいる時間」は1時間未満や全くしないと回答した児童の割合が少し多くなっています。
- 「読書が好き」と答えた児童が多い一方で、「読書の時間」は半数以上が1日あたり30分未満、地域の図書館や学校図書館の利用頻度も低くなっています。

指導の充実に向けて

- ・「人・物・時間を大切に」を合言葉に、安心して通い、楽しく学べる学校づくりに努めます。
- ・丁寧な学習の積み上げ、基礎基本の定着を図ります。
- ・自分の考えと他の人の考えを比較したり、文や図表などを活用したりする活動を通して、多面的に考察し、学びを深めていけるようにします。
- ・文や式などの意味を理解したり、図表や資料などを読み取ったりする力の向上に努めます。また、わかったことや、自分の考えを説明したり書いたりする機会を意図的に作り、対話をしながら学びを深めていくことができるようにします。
- ・ICTを活用することで、学習意欲の向上や、より効果的な学びとなるように工夫していきます。
- ・市立図書館と連携し、読書活動の充実を努めます。
- ・家庭と連携し、家庭学習の工夫・改善を行うことで学習習慣の定着を目指します。

